

名所舊
蹟遊覽

萩案內栞

非賣品

(裏面萩地方史蹟圖)

菟地地方史蹟圖



萩 案 内

萩町は慶長九年輝元公入國以來二百六十有餘年間毛利氏累代の城下に
して今日に至れり

△交通機關 汽車 山陽線厚狹驛にて美禰線乗換 自動車

萩間、 汽船 大阪商船下關、仙崎、萩、須佐、江崎、濱田、温

山口線長門峽驛にて下車し天下の奇勝長門峽を探勝し高瀬より扁舟
町迄自動車の便もあり

△萩城趾 指月山の麓にあり元吉見氏の別墅なりしが慶長九

害第一の稱ありしが維新後城廓悉く廢毀せられ城塞の一部を残すの

△志都岐公園 城趾一帶の芝生に點綴する櫻樹は特に春花爛漫の

△志都岐山神社 舊城内にありて縣社なり明治十二年の創建にして

美と相俟て萩地有數の勝地たり

△菊ヶ濱 指月公園の東より鶴江に續く白砂、青松の一帶なり

△春日神社 縣社にして萩町の總鎮守たり境内に忠魂碑あり又

△天樹院趾 堀内大下馬にあり萩地臨濟三院の一なり寛永年間

めぬ

△明倫館趾 享保三年藩主吉元公堀内に創建せらる後敬親公に

壯を極むるものなりしが維新後廢頽して講堂は舊山口縣會議事堂の
は演武場の一棟と用水池及二基の石碑並に木主を存するのみ現今の

ハ三